

【 新製品 】

平成23年10月1日

各 位

東洋バルヴ 株式会社
環境事業推進部

工業向け新型ピュアキレイザー発売について

弊社が開発した促進酸化水処理装置『ピュアキレイザー』(特許取得済)は、温泉、プール、農業分野に販売を拡大して参りましたが、10月1日より工業向け『ピュアキレイザー MZPV-0型』の新機種を発売することとなりました。

従来、メッキ洗浄液、レンズ洗浄液等はぬめりやカビ、藻などの繁殖により、ラインでメッキ不良、磨き不良等が発生することがあり、ピュアキレイザーは促進酸化を基本とするため、このカビやぬめりの元となる有機物やバクテリアを除菌浄化する能力が高く、薬品を使用しないなど、安心安全が大きなメリットとなります。

更に、メッキやレンズの洗浄などでは純水を利用することが多く、再利用できるようにすることで、ランニングコストを大幅に下げることが可能となります。

技術革新

促進酸化を手軽に利用できるようにした水処理装置がピュアキレイザーです。

促進酸化とは強力な酸化剤であるヒドロキシラジカル($\cdot\text{OH}$)を生成する酸化法で、従来から利用価値が高いと言われていました。その理由は、

酸化剤でありながら流体のpHの変化が少ない。

反応時間が短い。

残留性がほとんどない。

有機物を二酸化炭素と水まで完全分解できる。

塩素の様な副生成物がない。

等々様々なメリットがあります。しかし、製品にするととなるとオゾン+紫外線、オゾン+過酸化水素、触媒+紫外線等、装置自体が高価になっておりましたが、東洋バルヴでは、温泉、プール等で経験を積み、オゾンを作る技術と紫外線の配置、及び水中でも剥離しない光触媒を利用することで安価で耐久性のある促進酸化が使用できる装置を開発致しました。

性能

メッキ業界では純水を洗浄水として長く利用するために様々な装置を検討してきましたが、有機物量が多いため、これまではカビ、ぬめりを抑えるために高価な純水をこまめに交換するか、大掛かりな処理装置で循環浄化しております。

ピュアキレイザーは促進酸化技術でこれらの有機物を大量に分解できることから、金メッキの洗浄

槽や銅メッキの前処理槽、レンズ洗浄槽等で発生するカビやぬめり、バクテリア等を根こそぎ分解し純水や配管の交換・洗浄費用を大幅に削減できるようになりました。

今回の製品 MZPV-0型は、基本的には、従来の ZPV-0型と同程度ではありますが、工業用専用の付属品、配管システム等を考慮し、より安全で長く利用できる様に致しました。

価格

今回新製品として投入するピュアキレイザーは、洗浄槽の流量が1000ℓ程度まで利用できるタイプで1台98万円(標準小売価格)と、従来このようなラインに利用される装置と比較しても半額程度でかつ、より強力な浄化力を得られるようになっております。

東洋バルヴとしては、上位機種を随時販売していく方針であります。

売上見込み

これら工業向けのピュアキレイザーを本年度中に5000万円、3年後には、シリーズ全体で5億円以上の売り上げを見込んでおります。



■ この件に関するお問い合わせ先
東洋バルヴ株式会社
環境事業推進部

【工場 環境事業推進部】 担当:田中・山田
TEL 0266-82-0655

【東京 環境営業グループ】 担当:関
TEL 03-3249-5306

【名古屋 環境営業グループ】 担当:津野
TEL 052-582-5111

【大阪 環境営業グループ】 担当:伊藤
TEL 06-6532-0512